



ふるさと加茂かるた大会(2月2日)

主な内容

- 小池市長「新しい年のはじめに」…… 27
- ホームヘルパー・教育委員会臨時職員
(介助員・給食調理員)を募集します…… 18
- 平成13年度決算…… 18
- 平成14年のできごと…… 20, 21
- 歯の健康「おやしらずが痛むとき」…… 22
- 加茂の風土記…… 24

お気軽においでください

市民と市長の「よもやま話」の日

開催日時については、総務課広報係へ
お問い合わせください。

【受付・問い合わせ】 市役所3階総務課広報係
(☎52-0080 内線323)
までお願いします



新しい年のはじめに



加茂市長 小池 清彦

新年あけましておめでとうございます。

謹んで、市民の皆様には新年のお慶びを申し上げます。皆様方におかれましては、今年一年何とぞますます御健勝で御多幸な日々をお過ごしくださいまして、大いに御活躍くださいますよう心からお祈り申し上げます。

大不況の中、市民の皆様には、本当に御苦勞様でございます。

政府の誤れる緊縮財政政策と地方切り捨ての政策は、中小企業を極端に苦しめ、地方を破壊し、日本経済を壊滅させ、日本を滅亡の淵に落としつつあります。

超大型の拡大財政政策によって、景気を一気に回復する強力な救国内閣の出現を待望してやみません。

私といたしましては、政府の政策の転換がなされるよう力を尽くしますとともに、大不況の中で、市民の皆様お一人おひとりのお幸せを最大限に、お守りするよう全力をあげる決意であります。

平成十五年が日本国および日本国民にとって、再び繁栄に向かう希望の年となり、二十一世紀が輝かしい幸せの百年でありますことを、心から祈念してやみません。

一 小泉総理の構造改革は、実は構造改悪であり、小泉総理の緊縮財政政策と地方切り捨て政策は、日本を滅亡の淵に落とすつつあります。拡大財政政策をとり、地方を大事にして、景気を一気に回復し、再び繁栄を取り戻す強力な救国内閣の出現を切に望みます。

(1) 小泉総理の基本哲学である「創造的破壊」は、二百年前の初期資本主義時代のアダム・スミスの経済理論と同様のものであり、自由放任（レッセ・フェール）、弱肉強食、弱者切り捨てをモットーとして、企業をバタバタ倒産させ、失業を増大させ、最後に大恐慌を招くものであります。

(2) 小泉総理は、不景気のとくに超緊縮財政政策をとっておられますが、これは経済学の法則に完全に反するものであり、かつて世界大恐慌を招いたアメリカのフーバー大統領及び当時の各国政府と同様の破滅の政策であります。小泉総理は、七百兆円の政府の財政赤字を気にしておられますが、こんなものは、いざとなれば「日銀引き受けの国債発行」によって、日銀に肩代わりさせて、実質的に踏み倒して、消滅させてしまえばよいのです。

そのようにしても日銀は通貨発行権を持っており

ますから、少しも困りません。怖いのはインフレになることですが、日本経済がデフレ・スパイラルに陥っているときに、インフレにはなりません。

(3) 超大型拡大財政政策をとって、景気を一気に回復することこそ、世界の経済大国日本のとるべき道であります。

大国日本は、戦争に負けて貧乏のどん底にある長岡藩ではないのです。

「米百俵」の超緊縮財政政策は、貧乏な長岡藩には適していても、世界経済をリードする経済大国日本にとっては、亡国の政策です。

(4) 小泉総理の地方財政政策は、「均衡ある地方の発展」を基本哲学とするすばらしい日本の地方財政制度を破壊して、東京都を中心とする太平洋ベルト地帯の富める大都市地域を優先し、地方を完全に切り捨てて衰退させるものであります。

(5) 小泉総理の「不良債権処理」は、不景気のとくにやってはならない政策です。企業を次々に倒産させるだけで、何のメリットもない政策です。

(6) 小泉総理の「銀行の引き締め」は、不景気のとくにやってはならない政策です。

銀行等の金融機関は資本主義経済の心臓であり血

管です。国は金融機関が絶対に倒産しないよう手厚い保護を加えるべきです。

(7) 「ペイオフ」は百害あって一利なき、意味のない政策です。即座にやめるべきです。

(8) 「金融ビッグバン」「グランド・コンペティション（世界大競争時代）」「グローバル・スタンダード（実はアメリカン・スタンダード）」等に始まるアメリカの謀略は、「ジャパン・アズ・ナンバールワン」といわれた日本の繁栄を一気に衰滅させました。小泉総理は、いまだに、アメリカの謀略に乗っているに過ぎません。

日本国民は、このへんで目を覚まして、超大型拡大財政政策をとるべきであります。

(9) 中国をはじめとするアジア諸国は、為替の差と賃金の差を利用して、次々に日本の中小企業を倒しています。大きなハンデのついた競争は、もはや自由競争ではありません。日本は断固として、それぞれの分野の製品について、日本の企業の分として、一定のシェアを定めるべきです。ニット製品も木工製品も、日本の企業のために、五割のシェアは要求すべきと考えます。農産物には、もっと大きなシェアが必要なものも多いでしょう。これで、はじめ、ハンデのない真の自由競争が実現します。政府はこ

うしたことに全力をあげるべきであると思います。

二 小泉総理が進める市町村合併は、国が地方へよこすお金を大幅に削減することを唯一の目的とするもので、民主主義を破壊し、国を滅ぼします。県央東部合併は、破滅の道。絶対にこれに加わってはなりません。市町村合併に断固反対して、国から来るお金が周辺部地域は三分の一から四分の一に減り、加茂地域は毎年三十億円減り、県央東部は毎年百億円減り、県全体では毎年六百億円減ってしまう事態を阻止し、加茂市と県央と新潟県を没落から守り抜きます。

三 田上町との合併については、本年一月二十七日に発表された十八歳以上の全町民の市町村合併意向調査の結果によると、全体の四分の三の方々が合併に消極的であり、その上、加茂市との合併を望んでいる人は全体の二十分の一に過ぎません。

これは、田上と加茂の合併が実現不可能であることを示しています。いやだという

相手に結婚を迫るような行為は、田上町民の怒りに火をつけ、とりかえしのつかないことになります。

また、田上と加茂が仮に合併した場合に、毎年地方交付税の段階補正分五億二千九百万円が来なくなり、これを元手に事業を行うことができなくなる結果、国から来るはずのお金も来なくなつて、毎年十一億円から十三億円のお金が合併市に来なくなります。この結果、下水道建設事業は、全て中止せざるをえなくなり、第三平成園は建設できず、福祉、商工業保護、農業保護等の政策の水準は、大幅に後退して、惨たることになります。

四 本年も市民中心の眞の民主的市政を推進します。

本年も「よもやま話」を活発に行い、市民の皆様お一人おひとりをお大切にし、お幸せにする市政を推進してまいりたいと存じます。

市民の皆様の御要望は、すべて実現しま

すというのが私の公約であります。

昨年一年間で「市民と市長の『よもやま話』の日」には、延べ七十一組、延べ百七十七人の方がおいでになり、心から感謝しております。

五 国・県と太いパイプを結んで多くの重要政策を実現します。

六 本年も憲法の平和主義の旗を高く掲げて前進したいと思ひます。

七 日本一の福祉の水準を断固堅持いたします。

すでに御報告申し上げましたように、日本経済新聞社が編集した「住民サービスここが一番」という本において、在宅介護のホームヘルパー数（高齢者人口千人当たり）で加茂市は伊丹市と並んで市としては日本一であることが明らかにされました。在宅介護だけではなく、加茂市は施設介護でも待機者ゼロで日本一ですし、在宅の介護料・看護料は無料となっております。ショートステイとデイサービスも十分提供されております。

乳幼児の医療費を一定額以上、通院で四年間、入院で六年間、無料とする制度と、妊産婦医療費を同様に無料とする制度は、これを堅持いたします。

県下二十市中、最低の保育料は、これを堅持いたします。

チャイルドシート購入費二割補助の制度を継続いたします。

五つのコミュニティセンターと二つの老人福祉施設は、市民ならびに近隣市町村の皆様に喜んでもらえるよう、円滑に運営してまいります。いわゆる「百円風呂」は好調で、多額の収入をあげながら喜んでもらっております。

八 平成十五年度には、六十人のホームヘルパーを六十五人に増員いたします。

九 市民バスの運行と民営バスの運行の支援に万全を期してまいります。特に、このたび民営バスに対する県の補助が大幅に減つたため、蒲原鉄道バスの運行が中止されるところが出てきますが、市民バスを走らせて、十分にカバーいたしますので御安心ください。

十 女性が安心してお子様をお生みになり、お育てになることができる加茂市をつくるため、すでに述べたような様々の福祉政策を実施してまいります。保育園や学校は、絶対に閉鎖いたしません。

私立保育園は、しっかりと御支援してまいります。

現在、加茂小・加茂南小・下条小・須田小・石川小に開設されております児童館はしっかりと運営してまいります。

十一 私が主張していた「育児休業三年」の制度を実現することができたので、この制度をさらに充実させるため、全力を尽くします。

十二 年金の一〇〇%支給年齢を現行の六十五歳から六十歳に戻すよう求め続けます。

十三 一号被保険者（六十五歳以上）の介護保険料は、現行の二千八百十円を二千九百二十円に値上げせざるをえませんが、なお、

県下二十市の最低クラス(最低から二番目)です。今後とも、最低クラスを堅持いたします。

十四 昨年十一月二十四日オープンした市民福祉交流センター「加茂美人の湯」は、施設も大きく、粟ヶ岳が極めて美しく見え、大変好調です。平日は五百〜六百人、土曜は九百人〜千人、日曜は千五百人〜千六百人、一日平均八百三十人の方がおいでになります。

皆様の御要望に従いながら運営してまいります。

十五 特別養護老人ホームのベッド数が満杯になりつつあります。

できるだけ早く第三平成園の建設に着手できるように市の貯金をためていきたいと思えます。

十六 上条コミュニティセンターの隣の「乳幼児あそびの広場」と、須田中央公園の中

に造られた「憩いと遊びの広場」の施設が十分に御利用いただけるよう運営してまいります。

須田の「憩いと遊びの広場」には、「乳幼児あそびの広場」と同様「子育て支援センター」を開設いたしました。

十七 十四年度から公立の保育園にも園児バスを導入いたしました。十分御利用いただきたいと存じます。

十八 六十五歳以上の方々に無料でインフルエンザの予防接種を行う制度は、これを堅持いたします。

十九 会社更生法の手続きが進んでいる株式会社新潟鐵工所加茂工場を無傷で存続させることができました。

今後とも、御支援してまいります。

同社の下請け・孫請けの企業については、それぞれマン・ツー・マンで御支援してまいります。

二十 民事再生法の手続きが進んでいる株式会社丸五技研も存続させることができました。

今後とも、御支援してまいります。

二十一 平成十三年三月に橋梁の建設を開始した加茂信濃川大橋は、国の十四年度補正予算で、さらに橋脚一基の建設が認められ、合わせて十一基の橋脚と橋台のうち八基の橋脚の建設が認められました。

建設は急ピッチで順調に進んでいます。

二十二 小林幸子さんの「雪椿」の歌碑の除幕式を四月十二日(土)、加茂山公園で行います。

二十三 冬鳥越スキーガーデンは、「ロッジウエーデルン」、Tバー・リフトが完成し、芝生や林の中の遊歩道も完成し、山桜も植え終わり、日本的な美しさも備えた日本有数の洋式庭園となりつつあります。県内最古の電車モハ一の復元も完了しました。

(土地買収費も含め、大半は国の金を使いました。)

十四年度は、雇用対策のための国のお金(緊急地域雇用創出特別基金事業費補助金)を使って直径二十メートルの日本一の全面花時計やバラ園を造りました。

また、国がよこした有利な臨時経済対策事業債(国が四五%負担)を使って、七谷スポーツゾーンのための広い駐車場も造りました。

今年は、すでに植え込み終わった二千五百本のバラ園が新しい名所となるものと思えます。

二十四 七谷の大谷に(仮称)二万年前旧石器公園を整備いたします。

二十五 加茂駅西口公園を開設しました。

美しいお庭を市が取得させていただけでも、不景気の時にしか来ない有利な起債である臨時経済対策事業債を利用して整備しました。所要経費の約四五%は、国が負

担します。

十分お楽しみください。

二十六 若宮公園の整備を進めます。

二十七 加茂山公園、粟ヶ岳県民休養地、下条川ダム公園等を豊かに維持運営します。

二十八 加茂市全域にわたり、ハイキング道、史跡、憩いの場等を整備いたします。

二十九 須田と白根の中央部を貫通して建設中の広域農道（幅員九メートル）は、現在は加茂信濃川大橋を通過して伸びていく新県道長岡栃尾巻線に達するとストップするところになっていますが、これをさらに国道八号線まで約一・六キロメートル延長するよう、国の了解をいただきました。現在、県に働きかけているところです。
須田千年の大計のために頑張ります。

三十 県道天神林上条線の若宮町―長福寺間

の拡幅・改良工事（幅員十二メートル、片側歩道）は、加茂市の道路施策の中の最優先課題です。

このところ県の単独事業として整備されていますが、これを公共事業にして、建設速度が早まるよう、努力してまいります。県当局も理解を示され、軌道に乗ったところ です。

三十一 国道四〇三号線バイパスの建設を着実に進めていきます。まもなく新潟方面は田上町庁舎を越え、三条方面は下条川を越えて伸びていくことになりました。
現在、用地買収や圧密沈下のための土盛りや道路建設工事などが着実に行われております。

三十二 財政的に可能となったときに、直ちに知的障害者援護施設を建設できるよう、施設の構想を検討してまいります。

三十三 療養型病床群（三十ベッド）が開設

された加茂病院について、救急医療能力の向上と医師の充足をめざしつつ、さらなる充実を図ります。

三十四 労働界と定期的に協議を行いながら、全力をあげて御支援いたします。

三十五 ーT(情報技術)の充実については、機をとらえつつ、力を尽くします。

三十六 温水プールのスイミングスクール「加茂アクアコミュニティ」では、新潟県の国体監督であられる校長の田中勝弘先生自ら懸命にコーチされ、他のコーチの方々も立派な方で、大勢の少年少女の皆様、大人の皆様が参加しておられます。初心の方のコース、健康増進コース、選手コースなど、たくさんあります。

このスイミングスクールの発展にさらに努力いたしますとともに、オリンピック選手が誕生する夢を将来に懸けたいと思いません。

三十七 加茂市が二〇〇九年新潟国体の体操ナンバー1の強化地域に指定されました。

横山正明先生の御指導の下、加茂市の小中学生の方々が県内トップにおられるからです。そのため、最新の設備であるピットを有する体操施設の建設をめざします。ただし、十四年四月一日以降、小泉内閣が有利な起債である地域総合整備事業債等を全廃しておりますので、その復活を待たざるをえません。チャンスを待って実現したいと思えます。

三十八 小・中学校の教育のさらなる充実を図ります。

智育、徳育、体育の全般にわたり、充実をめざします。

学問、スポーツ、ーT、スクールバスの活用、教育用備品の整備、建物の整備等、万般にわたり全力を尽くします。

技術面の教育に力を入れる一方で、心の教育を重視いたします。

三十九 ここで大変心配なのは、最近、文部科学省が日本の小中高校生の学問のレベルを落とす方向に進んでいることとあります。これでは二十一世紀の厳しい時代に、日本は経済大国の地位を保っていくことはできません。

日本の青少年の学力のレベルは、常に諸外国の青少年のトップクラスのレベルになければなりません。これのみが資源に乏しく、国土も狭い日本人の生きる道でありません。

聞くところによれば、日本の子どもたちの算数の実力は、かつての世界一から転落して世界で十五番目くらいに下がっているというではありませんか。

総合学習は、視野を広くし、自ら考える力を養いますからまことに結構ですが、それだからといって学校で教える教科のレベルを落としてはならないと思います。

四十 小中学校の生徒の皆様のご給食のお米は、すべておいしい加茂産のコシヒカリを差し

上げておりますが、この政策は継続いたします。

加茂市の米穀商組合が格安の値段で納入しております。このための経費は、加茂市が負担しております。

四十一 加茂西小学校の立て替えについては、常に念頭に置きたいと思っております。

四十二 スクールバスを十分に提供するとともに、有効に活用いたします。

四十三 育成会活動を十分に支援いたします。

四十四 文化活動がさらに活発に行われるよう、支援いたします。

四十五 体育活動がさらに活発に行われるよう、支援いたします。

四十六 日本で最も効力のある自然環境保全条例に従って、小京都加茂市の自然をしっかりと守ってまいります。

四十七 現在、田上町にある加茂市・田上町消防衛生組合の焼却炉の灰の処理場については、県の御指導と御支援のもとに段階的に近代化を進めており、平成十三年度に第一期工事を終了いたしました。平成十五年度から、第二期工事を開始いたします。ごみ問題には、常に的確な対応を心がけ実行しております。

四十八 昨年十二月一日から、企業が所有する焼却炉のダイオキシン規制が厳しくなると、建設に多額のお金がかかることになり、加茂市の木工関係企業で自己の焼却炉を持つところは一社もなくなりました。そこで、各企業が木くずの処分を産廃業者に頼むと、高料金を倒産につながることもありますので、田上町にある加茂市・田上町の炉で焼却することといたします。そのため、焼却炉の運転時間を、現在の一日十二時間から十六時間に延長いたします。田上町サイドの御理解に心から感謝いたしております。

四十九 加茂川の中に生えている木を切つてきれいにし、また地主の方の御了解をいただいて、山にはびこってきた竹を除去します。

これにより、小京都加茂市の景観を保持したいと思います。すべて国から来る雇用対策のお金（緊急地域雇用創出特別基金事業費補助金）を使って行います。

五十 加茂市の山にバイオテクノロジーによる、松くい虫に強い松を植えたいと思います。

五十一 加茂市・田上町消防衛生組合において、さらに、消防と救急の充実を図ってまいります。

消防団員の方々と消防職員をしっかりと遇してまいります。

五十二 上限二百万円までの夢の融資制度である無担保・無保証人の加茂市中小企業小口融資の制度は、これを堅持し、十分な資金を用意してまいります。

すでに融資総額は、約二億九千万円に達しています。

五十三 今年も中小企業経営安定資金融資を継続いたします。

融資上限一千万円、金利年一・八%、期間七年（据え置き二年）、信用保証協会の保証料は加茂市が負担いたします。

五十四 加茂市の平成十五年度における諸々の制度融資の総額について、加茂市はとりあえず二十五億円までを準備いたします。それを上回る場合は補正予算で対応いたします。

五十五 国のすばらしい融資制度であった中小企業金融安定化特別保証制度（一千万円までは無担保・無保証人、一千万円から五千万円までは無担保）が一昨年四月以降中止されていることは、まことに残念なことであります。

いろいろ手段を尽くして、その再開のた

めに力を尽くしてまいりたいと思います。

五十六 商工会議所ならびに各業界と緊密に相談しながら、全力をあげて商工業を御支援申し上げます。

五十七 この大不況下の各企業の支援・救済に全力をあげたいと思います。

五十八 商店街をしっかりとお守りします。

五十九 商店街近代化事業は、十五年度には五番町の事業を開始いたします。全力をあげて、事業を推進します。

六十（旧）まるよしメリア店を再開することができましたので、次は五番町店の再開に力を尽くします。

六十一 加茂市で、全国を対象とする桐たんす・家具木工見本市を開催します。

毎年開催していきたいと思えます。

六十二 失業者の救済に全力を尽くし、やむを得ざる場合は、生活保護をもって、対応いたします。

六十三 加茂市の登記所を存続させるため、全力を尽くします。

六十四 農機具補助、減反補助等、各般の施策をしっかりと実施し、農協大合併下で加茂市の農家をしっかりと守ってまいります。国には、WTO交渉にしっかりと臨んで、減反政策を廃止するよう求めてまいります。米の輸入を中止し、余った米を海外に出すべきです。

減反政策が廃止できないのであれば、徹底した所得補償政策をとるよう求めてまいります。

六十五 未曾有の苦難の中にある農業の救済を期して、専業農家を強力に支援するとともに、兼業農家の存立と繁栄のため全力をあげたいと思います。

このため、農機具購入費三割以内補助の制度を堅持いたします。

六十六 畜産農家の救済と住民とのトラブルの解消を図るため、家畜堆肥処理施設の建設をめざします。

六十七 下条の圃場整備を推進し、高柳の圃場整備を開始いたします。

六十八 千刈駒岡線は、下（しも）の方は、とりあえず蒲原鉄道敷を利用して皆川まで開通いたしました。この下（しも）の方の区間は、当分の間、六メートル幅で供用いたします。

六十九 根古屋中央線は、平成十五年度に大通りから谷通りまで十二メートル幅に拡幅します。

七十 土倉の急な坂の改修は、着実に進めてまいります。

七十一 興国鋼線索の跡地の横を皆川まで通じている狭い道路は、できるだけ早く幅員八メートルに改修いたします。

七十二 道路、水路、側溝、消雪パイプ等の新設や改良については、市民の皆様の御要望の実現に全力を尽くします。

七十三 下水道については、不況下において建設業を支援しなければならぬこともあり、精一杯の規模で、推進してまいります。

七十四 平成十四年度に、下水道幹線が下条川を渡りました。今後、下条川左岸に下水道が広がります。

七十五 水道料金につきましては、県下二十市中、最低の水道料金を堅持いたします。

七十六 加茂市の経常収支比率は、平成十三年度決算において九五・一％で、県下二十市の中で最も高いといわれています。これ

は加茂市にとって、最高によいことです。

経常収支比率とは、分母に市税（都市計画税を除く）、普通地方交付税等の経常一般財源を、分子に毎年恒常的に使われる経費を置いて計算した率のことです。

経常収支比率が高いのはよくないというのは、今は迷信に過ぎません。

私は、経常収支比率は高いほどよいと考えております。

経常収支比率が高いということは、

(1) 福祉をはじめ市民の皆様をお幸せにするための経費が恒常的に大量に支出されているまちであること。

(2) 国から大量の金が来ているまちであること。

を意味しているからです。

かつて国から来る金が大部分補助金で来た時代は、補助金は分母にも分子にも計上されませんので、経常収支比率は高くなら

なかったのですが、現在は、国から金をも
らうときは、まず借金をして、即ち、起債
を起こして事業をやって、返すときに国が
金を出してくれるという時代になっており
ますので、国から来る金は普通地方交付税
として分母に入り、公債費として分子に入
ってしまうことになります。そうなります
と、国から来る金が多くなるほど、經常収
支比率は高くなることになります。

こうした(1)および(2)の理由により、經常
収支比率は、高いほどよいということにな
ります。

七十七 加茂市の貯金は、着実に増え続け、
平成十三年度には一億五千万円も増えて、
十四年度初めには十八億五千万円になりま
した。經常収支比率は高いほどよいという
私の理論が証明されたと思っております。
単に貯金を増やして健全財政を維持する
だけならば、事業を何もしなければよいの
ですから話は簡単です。

しかし、それでは、市民の皆様は少しも

お幸せにはなられません。

市民の皆様のために、精一杯お金を使っ
て、この大不況の中でも精一杯市民の皆様
をお守りし、お幸せにして、それでいて健
全財政が堅持され、貯金がたまっていくと
いうのでなければならぬわけです。

しかし、平成十四年度は、市役所に十三
人の退職者が出たため、一般会計と加茂市
・田上町消防衛生組合を合わせて平成十三
年度より七人多く退職しますので、加茂市
が負担する退職金が前年度より約一億七千
万円多くなります。

このため、平成十四年度末には、貯金は
一時的に十七億円か十七億五千万円くら
いまで減るかもしれません。

七十八 しかし、平成十五年度以降は、平成
十四年度ほど退職者が出ませんから、十五
年度から十八年度までの四年間は厳しい中
にも割合楽な財政運営が続くと思います。
厳しい財政運営を強いられるのは、おそ
らく平成十九年度から二十二年度までの四

年間です。

この四年間は、毎年十六人、十三人、十六人、十六人という具合に市役所の退職者が出て、退職金が巨額になりますので、財政運営の極めて厳しい四年間になります。

この平成十五年度から十八年度までの、予算編成が割合楽な四年間に、いかにして全館個室の第三平成園建設のめどをつけていくかということが、中心課題となっていくものと思います。

以上が、加茂市の財政の短期的ならびに長期的展望であります。

七十九 去る二月七日、加茂市は、平成十五年度予算(案)の編成を終了いたしました。

二月二十五日頃、発表いたします。

小泉内閣の緊縮財政政策による相当な地方締めつけ政策の下において、加茂市は、福祉をはじめ、高い市政の水準を落とすことなく、充実した予算(案)を編成することができました。

今後、加茂市はますます充実した予算を

編成し続け、充実した財政のもと、加茂市の貯金はさらに着実に増えていくものと考えております。

あわてて合併などして、没落していく道はたどらない加茂市の未来は、洋々としております。

温泉の次は、いよいよ全館個室の第三平成園です！

加茂市に常に大きな夢と新しい風を！

そして民主的市政を！

みんなで力を合わせて、さらに高い市政の水準と明日の繁栄をめざして進んで行きましょう。

ホームヘルパー募集

五月採用予定のホームヘルパー採用試験を行います。

勤務先 加茂市ホームヘルパーステーション(第二平成園内)

待遇等 所定の給与規則等によります。

第一次試験 四月十五日(火)・作文試験

第二次試験 第一次試験合格者に対して、面接試験を行います。

提出書類 市販の履歴書に必要事項を記入し、資格をお持ちの方は、ホームヘルパー養成研修了証書の写し、免許証の写し等、資格を証明するものを添えて提出してください。

締め切り 三月三十一日(月)までに市役所総務課組織人事係(☎内線322)または加茂市在宅介護・看護支援センター(☎4114032)へ。

職種	採用人員	受験資格
ホームヘルパー	6名程度	昭和18年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた人。 ただし、ホームヘルパー養成研修2級以上の資格をお持ちでない方は、本年10月末日まで資格を取得された後に、採用します。

加茂市教育委員会

臨時職員募集

教育委員会では、学校給食調理員と小・中学校の助員の臨時職員を募集します。

勤務時間 午前八時三十分から午後五時十五分

提出書類 市販の履歴書に必要事項を記入し、提出してください。

選考 書類選考後、面接試験を行います。

締め切り 三月二十日(木)※受付は、土曜日、日曜日を除く、午前八時三十分から午後五時まで。

提出・問い合わせ 市役所四階教育委員会庶務課(☎内線441)へ。

職種	採用人員	受験資格・賃金(日額)
調理員	1名	昭和23年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた人で、調理師免許取得者 賃金・六千二百円(日額)
介助員	2名	昭和23年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた人 賃金・六千二百円(日額)

市税の負担状況 (平成14年3月31日現在の人口 33,394人、世帯数 9,817世帯)

	収入済額	1人当たり	1世帯では
市民税	10億1,900万円	30,514円	103,800円
固定資産税	15億631万円	45,107円	153,439円
軽自動車税	5,054万円	1,513円	5,148円
市たばこ税	1億8,076万円	5,413円	18,413円
特別土地保有税	41万円	12円	42円
都市計画税	1億7,484万円	5,236円	17,810円

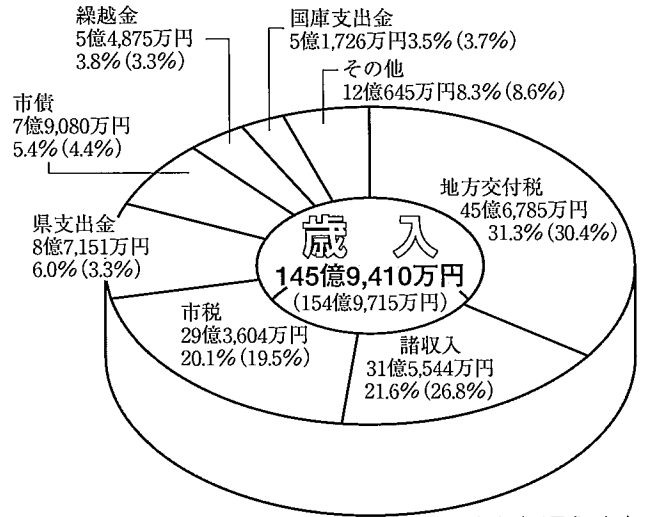
市民1人当たりの 一般会計歳出額428,946円

商工費	91,604円	民生費	78,324円
土木費	57,723円	公債費	52,944円
総務費	35,340円	教育費	38,404円
農林水産費	28,101円	その他	46,506円

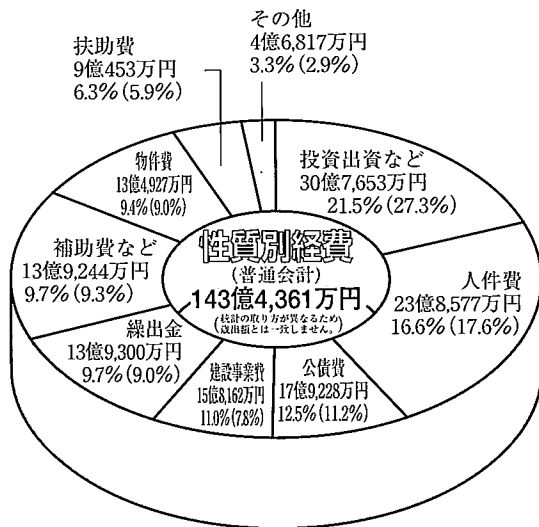


平成13年度決算

総額244億5,805万円

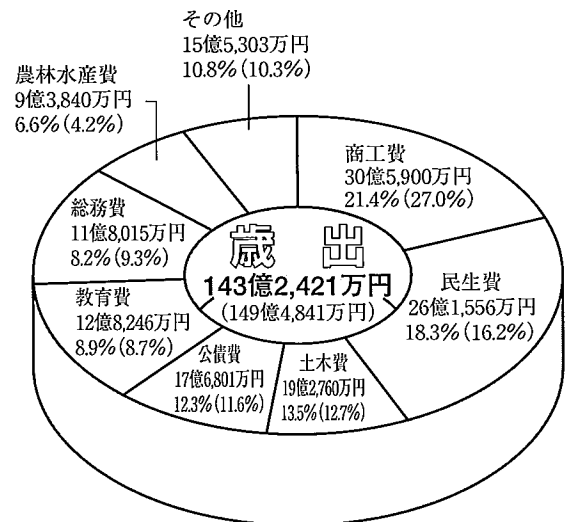


() 内は平成12年度



() 内は平成12年度

【グラフ説明】 前年度に比べ、歳入で9億305万円、歳出で6億2,420万円減少しました。これは主に歳入で諸収入が、歳出では商工費が減少したことによるものです。加茂市の経常収支比率は95.1%、公債費比率は19.8%となっています。



() 内は平成12年度

特別会計決算 (単位：万円)

会計名	歳入合計	歳出合計	差引残額
国民健康保険	21億6,242	21億3,156	3,086
老人保健	32億3,475	32億1,078	2,397
宅地造成事業	1億9,587	5,887	1億3,700
下水道事業	27億2,032	26億9,730	2,302
介護保険	16億7,291	16億4,453	2,838
在宅介護サービス事業	4億8,143	3億9,080	9,063

平成13年度末の市債(市の借金)現在高 (一般会計)

総額 130億9,382万円



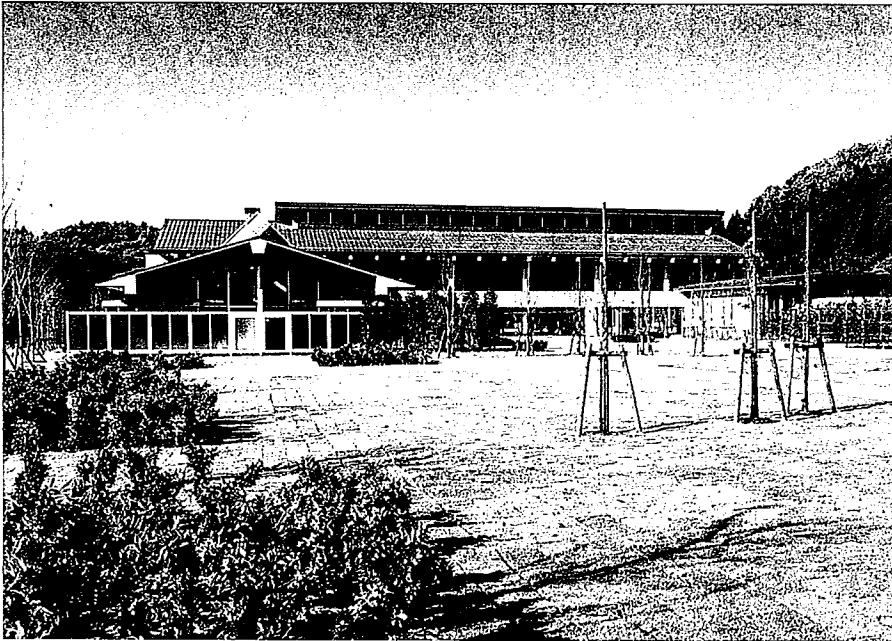
土木債	51億5,897万円 (39.4%)
教育債	24億1,211万円 (18.4%)
総務債	12億3,375万円 (9.4%)
衛生債	10億5,529万円 (8.1%)
民生債	9億7,579万円 (7.5%)
その他	22億5,791万円 (17.2%)

市民1人当たり 392,101円 1世帯当たり 1,333,790円

平成14年の出来事

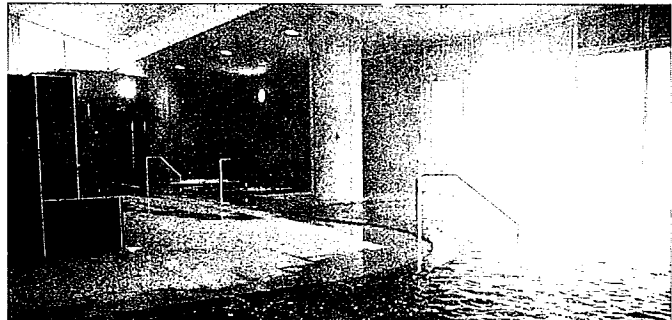
昨年は、サッカーW杯で日本中が沸き上がりました。日本代表が決勝トーナメントに進んだこともありですが、新潟のビッグスワンも開催会場だったことがより身近に感じた一つだと思います。

平成十四年の加茂市を振り返ってみると、こんなことがありましたので、ご覧ください。



市民福祉交流センター「加茂 美人の湯」オープン

広く、粟ヶ岳を一望できる浴そうと二階大広間がとても好評で、連日おおぜいの皆さんが訪れています。これからも広くご利用いただけますよう、お待ちしております。



平成14年 加茂市の出来事

- | | |
|-------|---|
| 1月22日 | 臨時市議会 |
| 2月25日 | 大島町椿まつりに親善訪問（〜27日） |
| 2月21日 | 平成14年度当初予算案を発表 |
| 3月5日 | 市議会3月定例会（〜22日） |
| 3月31日 | 市議会に合併問題特別委員会設置
元狭口にネパール・ムスタンの近藤亨氏顕彰碑を除幕 |
| 4月7日 | 加茂山一斉清掃 |
| 4月10日 | モハ1・61号修復工事竣工記念式典 |
| 4月11日 | 須田中央公園完成、園内の「須田憩いと遊びの広場」がオープン |
| 4月14日 | 美川憲一コンサート・加茂川ブルース／加茂川慕情発表会 |
| 4月21日 | 第36回雪椿まつり大園遊会 |
| 4月22日 | 臨時市議会 |
| 4月28日 | 参議院新潟県選出議員補欠選挙 |
| 5月1日 | ふるさと切手「越後の花」に加茂山のユキツバキが採用・発売 |
| 5月3日 | 成人式 |
| 5月23日 | 加茂市国際交流の集い開催 |
| 6月2日 | 加茂川一斉清掃 |
| 6月10日 | コムソモリスクス市創立70周年記念式典に市代表団が参加（〜14日） |
| 6月19日 | 市議会6月定例会（〜28日） |
| 6月21日 | コムソモリスクス市労働組合ボンダレンコ議長らが市長を表敬訪問 |
| 6月30日 | 農業委員会委員一般選挙（無投票） |
| 7月21日 | 下条川ダムへら鮎釣り大会 |
| 7月22日 | 臨時市議会 |
| 7月29日 | コムソモリスクス市へ中学生代表団を派 |

2002 加茂市の出来事

'02 日本で…、世界で…

- 1月1日・ユーロ通貨流通開始
- 5月8日・中国瀋陽の日本総領事館で
北朝鮮から一家5人の駆け
込み亡命
- 31日・W杯韓国・日本大会が開幕
日本代表は決勝トーナメン
トに進出
- 8月1日・住民基本台帳ネットワーク
稼働
- 29日・東電原発でトラブル隠しが
発覚
- 9月17日・小泉首相と金正日総書記の
首脳会談実現
- 10月8日・小柴昌俊さんノーベル物理
学賞受賞決定
- 9日・田中耕一さんノーベル化学
賞受賞決定
- 12日・バリ島でテロ
- 15日・北朝鮮拉致被害者5名が帰
国
- 11月16日・サッカー・アルビレックス
新潟がJ1昇格に失敗
- 27日・イラク大量破壊兵器開発疑
惑で国連査察再開

コムソモリスク市との交流



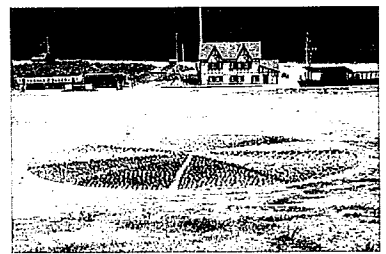
コ市70周年 式典では吉田助役
がお祝いと一層の交流をと述べま
した。



中学生代表团 初めてのロシア訪
問でリズムのあるキャンプ生活は
言葉をものを感じたようです。



法務局加茂出張所存続を求める運
動 集まった署名を内閣総理大
臣、法務省ほか政府に提出し、存
続を強く要望しました。



花時計完成 冬鳥越スキーガーデ
ンの斜面に造られた直径20メー
トルの花時計は季節の花で飾ら
れています。



ミス雪椿 右から内藤ひとみさ
ん、西倉真由美さん、田巻佑規
子さんが加茂をPRします。



旧まるよし再開に向けて署名運動
27,539名の署名が集まり、12月
19日にメリア店が再開、残る五
番町店の再開が待たれます。

25日	19日	10日	7日	2日	12月1日	24日	22日	7日	11月2日	25日	15日	10日	10月6日	24日	19日	9日	9月5日	23日	8月14日	
を田上町世帯に新聞折り込み	「市町村合併について田上町民の皆様へ」を田上町世帯に新聞折り込み	特別職報酬等審議会が三役給料を引き下げ答申	旧まるよしメリア店が営業再開	「市町村合併について田上町民の皆様へ」を田上町世帯に新聞折り込み	市議会12月定例会(17日)	世界の料理パーティー	無登録・残留農薬問題で幸水ナシから安全宣言、選果場操業再開	まるよしの市内2店舗が閉店	市議会9月定例会(2日)	まるよしの市内2店舗の再開を求めて署名運動開始	健康ウォーク	丸山遺跡から旧石器時代の石器が出土したことを発表	芝野・横江地区の住居表示を実施	加茂市所在の法務局の存続を求める署名運動を開始	第35回市展(6日)	加茂市所在の法務局の存続を求める署名を法務大臣に提出	臨時市議会	市民福祉交流センター「加茂美人の湯」がオープン	「市町村合併について田上町民の皆様へ」を田上町世帯に新聞折り込み	第17回越後加茂川夏祭り

市の家計簿

平成十四年度上半期（四月～九月末）の財政状況が公表されました。市の収入と支出をグラフと表でご覧ください。

今回、公表された財政状況では、四月にスクールバス運営費、六月に老人福祉施設整備費などを、七月に越後加茂川夏祭り開催事業費補助金の増額補正を行いました。その結果、九月末での予算総額は百四十四億千五百九十三万円（十四年度当初予算総額は百四十四億三百万円）となりました。

各特別会計の執行状況（9月末現在 単位:万円）

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	20億6,927	7億5,388	8億4,844
老人保健	32億5,116	13億9,049	13億4,347
宅地造成事業	4億6,010	1億9,025	8,892
下水道事業	24億7,609	5億9,480	7億8,260
介護保険	16億6,834	7億2,700	6億7,732
在宅介護サービス事業	4億3,211	2億6,627	1億9,830
合計	103億5,707	39億2,269	39億3,905

市税の収入状況（9月末現在 単位:万円）

税目	調定済額	収入済額	収納率
市民税	9億6,291	4億7,160	49.0%
固定資産税	17億3,383	8億983	45.4%
軽自動車税	5,423	5,138	94.7%
市たばこ税	8,406	8,405	100.0%
特別土地保有税	89	29	32.4%
都市計画税	2億502	9,272	45.2%
合計	30億9,094	15億987	48.8%

一般会計予算の状況（9月末現在）

予算総額 144億1,593万円
（カッコ）内は収入・支出済額

上半期の財政状況

歳出	金額	前年同期比	項目
民生費	35億5,526万円	(13億4,108万円)	
商工費	27億8,052万円	(20億5,723万円)	
土木費	19億4,313万円	(8億1,116万円)	
公債費	17億1,047万円	(7億9,485万円)	
教育費	12億6,788万円	(5億5,885万円)	
総務費	11億1,015万円	(4億5,002万円)	
衛生費	7億6,694万円	(3億5,487万円)	
その他	12億8,158万円	(4億7,117万円)	
支出済額合計	68億2,923万円		
支出割合	47.4%		

歳入	金額	前年同期比	項目
地方交付税	44億1,000万円	(28億8,448万円)	
諸収入	29億9,979万円	(6,544万円)	
市税	29億3,532万円	(15億987万円)	
市債	15億5,720万円	(0円)	
国庫支出金	5億2,948万円	(1億6,565万円)	
県支出金	4億6,225万円	(1億465万円)	
繰入金	4億1,919万円	(1,532万円)	
その他	11億270万円	(7億7,228万円)	
収入済額合計	55億1,769万円		
収入割合	38.3%		

歳時記

ひと昔前まで、子どもたちにとって双六遊びはお正月の定番でした。雑誌の付録の双六で遊んだ記憶のある人も少なくないでしょう。

絵 双 六

華やかな絵が描かれた双六が広く出回るようになったのは江戸時代の中期。芝居や役者を題材にしたもの、百人一首からテーマをとったものなど、さまざまな絵双六が人気を競いました。なかでも旅行や旅程を主題にした道中双六は江戸時代を通じてのロングセラーで、歌川広重、葛飾北斎といった有名な絵師たちも数多くの双六を残しています。

双六の原型は枱目（たらいめ）の盤上に駒を進めて勝ち負けを競うゲームで、古くから世界各地に見られます。日本には奈良時代に中国から伝えられたといわれ、「日本書紀」にも「雙六（すごろく、すぐるく）」という盤上遊戯具の名が見られます。



区画に絵を描いた紙の上で、さいころを振って駒を進める絵双六は、古代の雙六が変形、あるいは分岐したもので、その起源は十六世紀後半の文書に現れる「浄土双六」と考えられています。浄土双六の初期のものは、仏教の世界で人間が住むとされる南閻浮州（なんえんぶしゅう）を振り出しに、上へ行けば極楽、下は地獄という構図で、区画に記されていたのは文字のみでした。



親不知が痛むときは、大きく分けて二つあります。

一つは、親不知がむし歯になったときです。この場合は、普通のむし歯と同じですね。ただ、抜くときが少し違うので、後で説明しますね。

二つ目は、いわゆる、親不知が腫れて痛むときですね。この場合、原因はいろいろありますが、一番多い原因を説明します。

親不知は、奥歯のその奥にありますので、親不知の周りは、もう普通の歯茎で知の周りは、もう普通の歯茎ではなくなっているんですね。つまり、普通の歯茎は、歯と結合して、汚れが歯と歯茎の間に入らないようになっていきます。ところが、親不知の周りは、粘膜になっていることが多く、歯と結合していません。つまり、汚れや細菌が入りやすい環境にあります。それに、奥の方にありますので、十分に歯ブラシで掃除できないのです。その結果、親不知の周りに細菌がいっぱいたまって、痛んできたり、腫れたりします。これは、いくら熱心に掃除をしても、ほとん

どの人に起こることです。また、横に向いて生えている親不知なら、もつと汚れがたまりやすいですね。さらに悪いことに、前の歯との間に、むし歯をつくることが多いです。

親不知が腫れて痛むときは、まず体を温めないことですね。長い入浴や、お酒の飲み過ぎは、腫れや痛みをひどくしますよ。あまり痛いときは、少し冷やすのが効果的でしょう。冷たいタオルを当てたり、氷水をビニール袋に入れて、それをタオルで

おやしらずが痛むとき

くるんで、ほつぺたに当ててください。

それと、うがいをするのも時には効果がありますよ。風邪のときなどに、お医者さんでよくもらうイソジンガーグルという、うがい薬が一番効果的でしょう。書いてあるとおりに薄めて、痛いところにうがい薬が通るよううがいをしてください。ただし、このうがい薬には、ヨードが入っていますので、甲状腺などの病気をもつ人は、薬剤師さんとよく相談してから使ってくださいね。

さて、結局は、歯医者さんに

行って最後は抜いてもらうしかないのです。でも、親不知を抜くって、怖いという話をよく聞きますね。それは本当かな？ 少なくとも、上の親不知は、抜くのも痛くないし、後で痛んだりするとは少ないです。でも、下の親不知は、やっぱり少し痛くて、抜いた後も、腫れたり、口が開かなかつたりすることがあります。残念ですけど本当です。

でも、ほうっておいたら、骨髄炎という怖い病気にまで発展して命まで危険にさらされる可能性がありますよ。まあ、これは本当にまじめなケースですけどね。

上と下でどうしてこんなに違うの？と、思う人も多いと思うけれど、骨が違うんですね。上は、海綿骨といって、非常に柔らかい骨だから、歯も素直に出てくるし、痛みも少ないのです。下は、緻密骨といって、とっても硬い骨で、だから骨を少しとつたりして抜く場合、ちよつと痛みがありますね。

とにかく、親不知は、現代人にはもうほとんどの人にとっていらぬ歯なのに、生えてきてるんです。ですから、いらぬものは、悪さをする前にとつてしまつたほうがよいでしょう。

(加茂市歯科医師会)

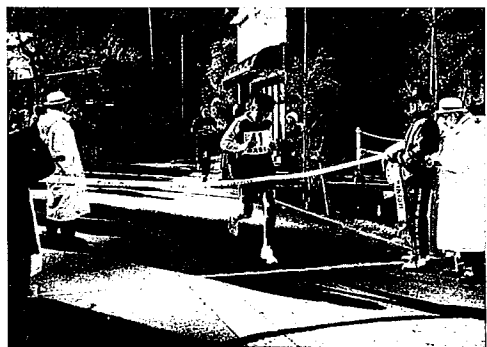


第一回の元日マラソンは、昭和五十三年、陸上競技協会と駅前競人会の主催で六十名の参加者から始まりました。スタート位置は青海神社前で現在と変わ

りません。今年の参加者は八十二名で、市内だけでなく近隣の市町村から参加された方も多いようでした。ゴールの加茂山公園駐車場に飛び込んでくる選手たちに、初もうでに訪れた人たちからも拍手と歓声があがっていました。結果は次のとおりです。

【2・6 km コース】

- ▼小学三・四年生男子の部①上野貴之13分6秒(加茂南小)②西方郁真(同)③久保和馬(同)
- ▼同女子の部①塩崎琴美13分48秒(下条小)②長谷川侑紀(同)
- ③鶴巻美香(七谷小)▼同五・六年生男子の部①神保勘太11分



- 45秒(加茂南小)②吉田翔(同)③坪谷祥樹(同)▼同女子の部①家塚麻美11分19秒(矢代田小)②樋口遥(石川小)③高井美奈代(下条小)▼中学生男子の部①五十嵐高裕10分20秒(葵中)②田辺健人(加茂中)③鶴巻桜太郎(若宮中)▼同女子の部①中山麻衣13分9秒(葵中)②有本瑞希(同)▼一般・高校女子の部①田中真弓11分24秒(玉川大学)②武内貴子(青陵短期大学)③波塚美奈子(下条小教)
- ▼壮年の部①阿部光雄10分47秒(新潟県庁)②梅田良雄(吉田家具㈱)③五十嵐隆一(巻東中教)
- 【4・7 km コース】▼一般・高校男子の部①船久保徹15分6秒(国際武道大学)②白井貴之(石川小教)③佐野光城(新潟産業大学)

加茂山公園の神苑碑

高札小路を谷通りへ抜けると加茂山公園諏訪山入り口になる。急坂を上り上町・仲町両町内の鎮守、諏訪神社や秋葉社の前を通り三十坪ほど上ると、山道の右側で樅の大樹の下に「県社青海神社神苑」碑がたっている。碑陰には「明治卅九年四月建之」と刻まれている。

職場や家族連れが弁当、酒肴持参で集い楽しんだといい、織物工場の女工さんたちの演芸の場でもあった。

碑の高さ約三・二坪、直径約四十二センチの御影石製円柱が、高さ三十センチ、八角形の台石の上に建てられ、周りには四つの庭石が草に覆われている。

更に、三十坪ほど上ると眺望の開けた芝生の広場で、瀟洒な東屋が迎えてくれる。戦前、ここは通称「遊覧場」といわれ、毎年四月十五日の山遊山には、

「県社青海神社神苑」の円柱碑

加茂の風土記



加茂山公園・神苑に続く山道の樅の大樹の下にある「県社青海神社神苑」の円柱碑



神苑にある東屋

かつて、ここは小高い山の斜面であったが、神苑碑建立のころから大正の初期にかけて、加茂農林学校大西鼎教諭や、明治の造園設計の父「祖庭翁」といわれた長岡安平東京府技師が設計し、加茂農林学校の生徒たちの奉仕によって造園されたと伝え、また生徒たちは明治四十五年に桜四百本、杉四千本も植えている（『青海百年』）。

ちなみに、大西教諭は岐阜県出身で、明治三十七年から四十二年まで勤務され、長岡技師は大村藩士で熊本県出身、同藩

出身の楠本正隆第二代新潟県令に仕えて新潟に赴任し、白山公園を手がけたともいわれている。長岡悠久山公園の設計は、大正六年（一九一七）である。

『南蒲原郡是調査書』（大正九年刊）によれば

名称 青海神社神苑
坪数 三、〇〇〇坪
設置 大正元年十一月
経営者 加茂町千紫万紅会

と記載され、その景観を百三十八字を費やし、口を極めて褒めそやしている。千紫万紅会は、有志の集まりながら、関真平会長のもとで加茂山の美化に努め今日の加茂山都市公園の基礎を築かれた貢献は大きい。

現在、神苑は、満天星が春秋を彩るが、一本松葉の「黒一葉松」や三本松葉の「リギタ松」など珍しい植物が見られ、さすが専門家の造園を偲ばせるのである。

(古川信三)

市民囲碁大会（一月十九日）

- 【Aクラス・参加十五名】①佐藤正彦（第二十三区）②泉田修（第一区）③川崎市郎（五番町）
- 【Bクラス・参加十一名】①酒井資栄（若宮町一）新潟日報杯②志田重男（同）③坪谷那一郎（秋房）
- 【Cクラス・参加九名】①梅田朋介（幸町一）②小野良宣（横江）③田中徳善（陣ヶ峰）
- 【Dクラス・参加八名】①坪谷弘三郎（上三区）②坪谷広一（同）③田中勇一（寿町）
- 【子どもの部・参加六名】①梅田真也（石川小四）②小林昌太（加茂中一）③小林尚吾（石川小六）

市民将棋大会（二月二十六日）

- 【Aクラス・参加十七名】①笠原由光（上三区）新潟日報杯②江田哲也（都ヶ丘）③土田孝次郎（後須田第三）
- 【Bクラス・参加十五名】①北沢岩



- 夫（仲町）②岡豊一（三条市）③山口勝秋（穀町）
- 【Cクラス・参加十五名】①丸山修作（田中新田）②知野新一郎（同）③丸山賢一郎（同）
- 【子どもの部・参加二十四名】①高橋海渡（田上小二）②戸松匠（加茂南小五）③外立卓巳（石川小三）

人口のうごき

1月1日現在	
世帯	9,856 (-4)
人口	33,280 (-38)
男	16,109 (-26)
女	17,171 (-12)
()内は前月比	
(12月異動分)	
出生	16(男7女9)
死亡	31(男19女12)
転出	65
転入	42